

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa

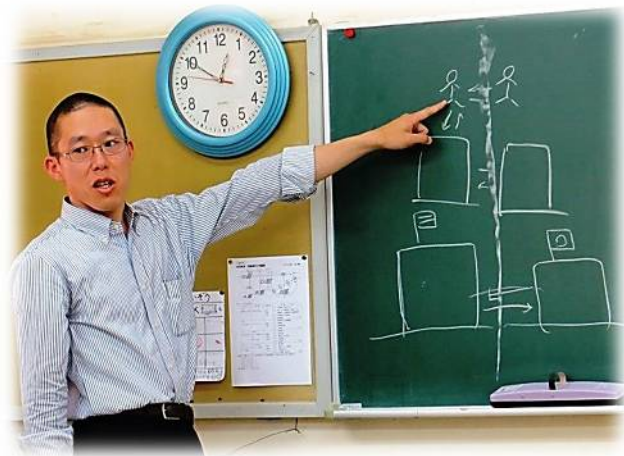


H.27.7.4

No.10

外交官、榎下健司（えのしたけんじ）さん

私が暮らしている**カイロ**には、**約800人の日本人**が暮らしています。エジプトでずっと生活している人もいますが、多くは仕事で来ている人たちです。**民間企業**の人もいれば、**大使館**で働く人、**国際援助（JICA）**の人もいます。そのようなみなさんは、外国で働くくらいなので経歴や仕事内容をお聞きするとすごい（素晴らしい）方ばかりです。カイロ日本人学校では、そのような方のお話をお聞きする機会がたくさんあります。その中のお一人、外交官の榎下健司さんのお話を紹介します。



子どもたちに講演する榎下さん

榎下さんは、在エジプト日本大使館にお勤めの外交官です。中学生の時に、異なる文化の人と関わる経験から、**世界の人々と関わる仕事がしたい**と思いました。その仕事は何かと考えたら**外交官**で、そこから、外交官を目指しました。外務省に入ると2年間言葉の勉強ができるのですが、どうせなら最も縁遠い言葉を勉強しようとアラビア語を選択し、シリアで勉強しました。その後、アメリカ、UAE、日本、アフガニスタンで勤めた後、エジプトに赴任しました。日本で勤めていた時は、テロ対策や原子力対策を担当したそうです。特に、北朝鮮の核開発

をやめさせるための対策を担当していました。榎下さんは、外交官の仕事を次のような話されました。

外国で日本人が安心して暮らせるようにする。日本全体が安心していられるようにする。この安全保障が一番の目的である。そのためにいろんな国と仲間づくりをしている。

実は、榎下さんは6月終わりにエジプトを離れアフガニスタンに異動されました。アフガニスタンは、とても貧しい国です。日本が貧しい国を支援する理由を次のように話されました。

貧しい国には、悪い人が集まってきて悪いことをする。悪いことをすると日本に危害を加えるかもしれないから支援をする必要がある。つまり、その国を助けると同時に日本を守ることにもなる。

日本人は、水と平和はただ（無料）と思っていると言われます。私たちの知らないところで、榎下さんのような方の努力があって日本の平和が保たれているんだなあ実感しました。**外務省の仕事は、日本をよくするための仲間づくりであり、大使館はそのための道具だ**とおっしゃっていました。また、榎下さんは、仕事や勉強について次のように話されました。

仕事とは、人に幸せを与えること。働くには、頭（学力）だけでなく体（体力）も必要である。勉強はできることを増やし、いろんなことを知ることができる。それは喜びになる。

私も、大使館の嘱託職員の立場（右の公用旅券を持ちます）でカイロで働いています。日本の子どもたちのために働き、その子どもたちが世界で活躍してより良い日本や世界をつくってくれたらなあと壮大な夢を描きました。

